



JGAP審査・認証機関の立場より

2014年2月19日(水)
日本認証サービス株式会社
認証事業部 兵頭和俊

JCS 日本認証サービス株式会社
Japan Certification Services, Inc.

Move Forward with Confidence



本日の内容



- ▶ 弊社のご紹介
- ▶ JGAP認証を取得するメリット
- ▶ 有機JAS、特別栽培農産物との違い
- ▶ JGAP 審査・認証の種類
- ▶ 申請準備から認証取得までの流れ
- ▶ よくある不適切な状況
- ▶ 残留農薬・放射能測定キャンペーンのご案内

日本認証サービス株式会社 会社概要



- ▶ 日本認証サービスは、ビューローベリタスグループの一員として、あらゆる食品の分析や認証を通じて、お客様に様々なソリューションを提供します

社名	日本認証サービス株式会社 Japan Certification Services, Inc. (JCS)
所在地	〒224-0033 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4-5-17
事業内容	【認証事業部】 ・JAS法に基づく法制認定（認定数：約350事業者） 有機JAS・生産情報公表JAS ・JGAP認証（認証数：約70農場） 適切な農場管理のあり方を審査・認証 ・Cert ID独自認証 Non-GMO認証・TRACE BACK生産履歴認証・有機酒類認証 【分析事業部】 ・食品分析検査 栄養成分（ミネラル、ビタミン、機能性成分）／ 重金属／ 残留農薬／ 残留動物用医薬品／ 食品添加物／ 異物検査／ 微生物検査／ 放射能測定／ 遺伝子組み換え作物検査／ 品種識別DNA分析／ アレルギー特定原材料含有検査／ 食味分析／ 安定同位体比分析 ・分析試薬販売 Fast ID DNA抽出キット／ 遺伝子検査試薬／ 簡易検査キット
ライセンス	・ISO/IEC17025認定試験所（認定番号：RTL03740） ・日本農林規格登録認定機関（登録番号：第21号・22号） ・JGAP審査・認証機関（登録番号：JGAP CB004） ・Genetic ID, Inc. 遺伝子組み換え作物分析法 ・Cert ID, Inc. 非遺伝子組み換え認証

JGAP茶セミナー2014_日本茶の世界展開の可能性とそれを支える品質管理_20140219 日本認証サービス株式会社

3

JGAP認証を取得するメリット(生産者にとって)



- ▶ 適切な農場管理により、農産物の安全性、環境保全性、労働安全性を高め、農業経営のリスクを低減
- ・リスク検討・自己点検・内部監査・改善を繰り返すことにより、安心・安全・高品質なお茶を作ることへの意識の向上
 - ・クレームの減少
- ▶ 農場の仕事の効率化
- ・栽培計画を立てることによる労働力の配分やマニュアルによる作業の平準化
 - ・団体事務局と農場での役割分担
 - ・生葉農家と茶工場の団結
 - ・5Sの徹底

JGAP茶セミナー2014_日本茶の世界展開の可能性とそれを支える品質管理_20140219 日本認証サービス株式会社

4

JGAP認証を取得するメリット(生産者にとって)



▶ 第三者認証制度

- 外部の審査員の立ち入り審査があることによる緊張感の維持
- 通常の行為・状態などが第三者の目から見ると不適切
- 取引先や社会に対する信頼性の向上

JGAP認証を取得するメリット(バイヤーにとって)



▶ 安全な食品の調達

- 一定の安全性が確保された農産物の調達が可能
- 仕入先の評価・選別・管理に活用

▶ サプライヤー監査の負担低減

- 農産物の安全などに関する確認を独自に行う必要がなくなり、効率的な調達業務の実現

▶ 味や外観などの品質基準や栽培基準は自由に設定可能なため、差別化された農産物の調達とも両立可能

有機JAS、特別栽培農産物との違い



▶ 有機JAS

• 有機農産物の生産の原則

- ✓ 農業の自然循環機能の維持増進を図るため、化学的に合成された肥料及び農薬の使用を避けることを基本として、土壌の性質に由来する農地の生産力を発揮させるとともに、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した栽培管理方法を採用したほ場において生産されること。

• 生産方法の基準

- ✓ 堆肥等による土作りを行い、播種・植付け前2年以上及び栽培中に（多年生作物の場合は収穫前3年以上）原則として化学的肥料及び農薬は使用しないこと。
- ✓ 遺伝子組換え種苗は使用しないこと。

有機JAS、特別栽培農産物との違い



▶ 特別栽培農産物

• 生産の原則

- ✓ 農業の自然循環機能の維持増進を図るため、化学的に合成された肥料及び農薬の使用を避けることを基本として、土壌の性質に由来する農地の生産力を発揮させるとともに、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した栽培管理方法を採用したほ場において生産されること。

• 生産方法の基準

- ✓ 当該農産物が生産された地域の慣行レベル（各地域の慣行的に行われている節減対象農薬及び化学肥料の使用状況）に比べて、節減対象農薬の使用回数が50%以下、化学肥料の窒素成分量が50%以下、で栽培された農産物。

有機JAS、特別栽培農産物との違い



・有機JAS
・特別栽培農産物

環境への不可をできる限り低減した農業の基準

・JGAP

安全な農産物を作るための基準
(環境への負荷低減も一部含む)



既に有機JAS、特別栽培に取り組まれている生産者の方にも、JGAPに取り組む価値がある

JGAP 審査・認証の種類

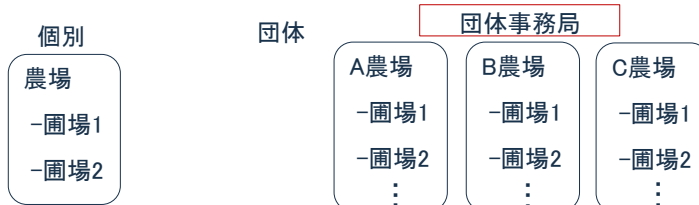


▶ 個別審査・認証

- 1経営体の中でJGAPに取り組み、農場管理の仕事を改善する。農場における農産物の生産行程の管理状態を審査する。圃場はサンプル審査。

▶ 団体審査・認証

- 団体事務局と各農場が分担して農場管理に取り組み、各農場の負担を軽減できる。団体による農場統治の状態と、団体に所属する農場における農産物の生産行程の管理状態の両方を審査する。
- 農場の実地審査は総数の平方根以上を対象とする。
✓ 例 50農場 → 8農場以上をサンプル審査



日本認証サービスでは！



▶ 審査費用

- ・ 経済的な審査費用でご提供いたします（まずはお見積りいたします）

個別審査（例：農場および1取扱施設）	
審査費用（交通費・協会登録料除く）	48,000円
団体審査（例：事務局および50農場・取扱施設）	
審査費用（交通費・協会登録料除く）	520,000円（1農場 約1万円程度）

▶ 残留農薬検査が可能

- ・ 「残留農薬検査」(提携先のISO17025認定試験所で実施)を承っております。これにより、今までJGAP認証審査と残留農薬検査を別々の機関に申請していたものが、弊社1社で可能となり、申請がスムーズになります。

▶ 経験豊富な審査員

- ・ 経験豊富な審査員・上級審査員・判定員
- ・ 可能な限り生産者のお近くの審査員を派遣し、交通費等のご負担を軽減

日本認証サービスでは！



▶ 複数認証の同時審査

- ・ 有機JAS認定などの他の認証審査と同時実施することにより、コストや時間を抑えられます



申請のための準備



▶ JGAPの理解

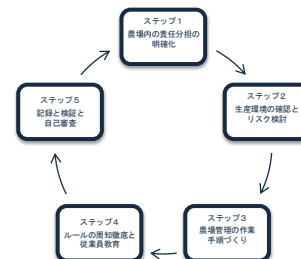
- 各種研修の受講、指導員からの指導
- 「JGAP総合規則」「管理点と適合基準(農場・事務局)」を理解し現状を把握

▶ 管理点と適合基準に基づく手順の構築、運営、自己点検、内部監査

- マニュアルを作成し、運営を記録
- 内部監査は団体事務局、茶工場、全ての農場に対して実施

▶ 不適合項目の改善

- 申請前に自己点検・内部監査・不適合の是正が必要



申請から認証まで



▶ 1. お見積り

- 個別 or 団体・農場数・取扱施設数・所在地(交通費、宿泊費)によって異なる

▶ 2. お申込み

- お申込書
- 圃場図やマニュアルなど一部の書類

▶ 3. 審査計画のご連絡

- 日時の調整
- 審査対象農場・施設、審査員数、必要日数の決定(1農場につき4時間程度)
- 1週間前までに審査農場(+予備)のご連絡(団体の場合)

▶ 4. 実地審査(マニュアル、記録、状況確認)

- 事務局、農場、取扱施設、外注先を対象
- 全ての管理点を審査し、適合・不適合・該当外を決定

申請から認証まで



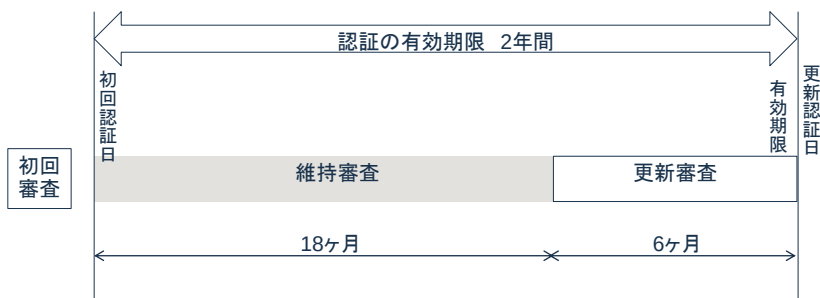
- ▶ 5. 不適合の是正および報告
- ▶ 6. 判定
 - 審査担当者以外の判定員による判定
 - 農場：必須項目 100%適合、重要項目 95%以上適合
 - 団体事務局：100%適合
- ▶ 7. 認証
 - 証書の発行



認証取得後



- ▶ 総合規則やマニュアルの遵守
 - 誰もが閲覧可能な場所に保管
- ▶ 維持審査および更新審査の受審



よくある不適切な状況



▶ 農場

- 資材や器具の散乱
 - ✓ 整理、整頓、清掃の実施
- 茶渋・茶もみを茶園にまく
 - ✓ 水分を含む状態は不可(窒素飢餓、虫の発生)
- 適用農作物が茶と茶以外の農薬と一緒に保管
 - ✓ 登録にあわせて明確に区分
- 農薬散布時の軽装
 - ✓ ラベル表示に従い、防護衣、帽子、保護めがね、マスク、保護手袋、ゴム長靴を着用

よくある不適切な状況



▶ 農場

- 農薬のドリフトの危険性の放置
 - ✓ 周辺圃場からのドリフト対策
 - ✓ 庭木の薬剤散布物
- 農薬の使用
 - ✓ 適用農作物・適用病害虫・希釈倍数・使用回数・使用時期(摘採前日数)
 - ✓ 適切な残液処理
- 残留農薬検査
 - ✓ 年に1回以上
 - ✓ 複数の農場の生葉が合葉されたサンプルを検体とすることは禁止
 - ✓ 多成分一斉分析では、残留の危険性が高いと思われる農薬成分を含むことを確認

よくある不適切な状況



▶ 農薬の空き容器の取扱い

- ラベル表示に従う
- 液状農薬の空き容器は水で三回以上すすぐ。すすいだ水は散布機のタンクに希釈用の水の一部として戻す。
- 他の目的に使用しない(ペール缶のバケツ利用)

よくある不適切な状況



▶ 工場

- 天井などのペンキの剥がれ
 - ✓ 異物混入の原因にならないよう対策
- 機械部品の破損(揉板やダクなどの破損)
 - ✓ 点検や交換(木製→ステンレス製)
- 窓、扉、シャッターの開放による昆虫・小動物の侵入
 - ✓ 戸締り
- 農薬の摘採前日数を遵守していない生葉の受入
 - ✓ 周知徹底
- 周辺圃場からの汚染
 - ✓ 茶工場内へのドリフト対策

よくある不適切な状況



- 使用する水
 - ✓ 茶葉に触れる水、機械設備の洗浄水、手洗いの水は飲用水
 - ✓ 貯水槽の定期的な清掃
- 照明の破損
 - ✓ 照明が割れて飛散する可能性がある場合には、飛散防止対策
- 農薬・殺虫剤・肥料・農機具を工場内への持込み
 - ✓ 食品工場であることを意識

ビューローベリタスグループの特徴



▶ サンプル、各種認証、分析検査など、川上から川下まで食の安全・安心をトータルでサポートします！

- 食品保管倉庫での分析検体のサンプリング業務
- 各種食品分析検査
- 各種認証業務
- ✓ 有機JAS・生産情報公表JAS認定
- ✓ JGAP認証(農業生産工程管理)
- ✓ CERT ID認証
- ✓ 非遺伝子組み換え認証等
- ✓ FSSC22000
- ✓ 食品安全システム認証
- ✓ ISO22000
- ✓ 食品安全マネジメントシステム認証
- ✓ ISO22005
- ✓ 食品トレーサビリティ認証
- ✓ MSC漁業認証(持続可能な漁業)

原料生産 農薬と漁業 製造 物流 小売 外食産業					
• 原料の安全規制を遵守する。					
• 市場により受け入れられるように、品質、安全、持続可能な農薬/漁業を推進する。					
• 小売店や消費者の要求に合わせ、消費水準の品質基準、安全基準を守る。					
• 食品安全へのコミットメントを示す。					
• 顧客力を維持しつつ、消費者の信頼を強化する。					
• 食品の安全や品質、顧客満足、経営者など幅広い層に対応する。					
提供サービス					
原料生産 安全情報認定 残留農薬* 残留動物用医薬品* 農薬成分・ミネラル類* ビタミン類・機能性成分* 遺伝子組み換え食品* 動物由来物質 植物由来遺伝子* 微生物検査*	農薬と漁業 安全情報認定 残留農薬* 残留動物用医薬品* 農薬成分・ミネラル類* ビタミン類・機能性成分* 遺伝子組み換え食品* 動物由来物質 植物由来遺伝子* 品確法認定* (農産物、畜産物、魚類) 安全情報認定・産地別特許 微生物検査* 食品組成分析 (DNA、PCR分析)	製造 安全情報認定 残留農薬* 残留動物用医薬品* 農薬成分・ミネラル類* ビタミン類・機能性成分* 食品組成分析 遺伝子組み換え食品* プラズマ・電離放射線照射 品確法認定* (農産物、畜産物、魚類) 安全情報認定・産地別特許 微生物検査* 食品組成分析 (DNA、PCR分析)	物流 安全情報認定 残留農薬* 残留動物用医薬品* 農薬成分・ミネラル類* ビタミン類・機能性成分* 食品組成分析 遺伝子組み換え食品* プラズマ・電離放射線照射 品確法認定* (農産物、畜産物、魚類) 安全情報認定・産地別特許 微生物検査* 食品組成分析 (DNA、PCR分析)	小売 安全情報認定 残留農薬* 残留動物用医薬品* 農薬成分・ミネラル類* ビタミン類・機能性成分* 食品組成分析 遺伝子組み換え食品* プラズマ・電離放射線照射 品確法認定* (農産物、畜産物、魚類) 安全情報認定・産地別特許 微生物検査* 食品組成分析 (DNA、PCR分析)	外食産業 安全情報認定 残留農薬* 残留動物用医薬品* 農薬成分・ミネラル類* ビタミン類・機能性成分* 食品組成分析 遺伝子組み換え食品* プラズマ・電離放射線照射 品確法認定* (農産物、畜産物、魚類) 安全情報認定・産地別特許 微生物検査* 食品組成分析 (DNA、PCR分析)
有機JAS* Non-GMO認証* ISO22000 ISO22005	有機JAS* 生産情報公表JAS* Non-GMO認証* MSC ASC ISO22000 ISO22005 長期ブランド認証	有機JAS* 生産情報公表JAS* Non-GMO認証* MSC CoC ASC CoC FSSC22000 ISO22000 ISO22005 UTZ Certified goos inside	MSC CoC ASC CoC ISO22000 ISO22005 TRAFI Food	(小売向け) 有機JAS* 生産情報公表JAS* MSC CoC ASC CoC ISO22000 ISO22005	ISO22000 ISO22005

残留農薬・放射能測定キャンペーンのご案内



▶ 残留農薬検査・放射能検査の価格を10%OFFでご提供いたします！！

キャンペーン期間：2014年3月1日～2014年5月31日受付分まで

残留農薬分析

検査項目	所要日数 (営業日)	キャンペーン特別価格 検査料金 (税別)	備考
残留農薬149項目一斉分析	8～11	27,000円 (通常30,000円)	LC/MS/MS法
残留農薬260項目一斉分析	8～11	36,000円 (通常40,000円)	GC/MS法 (またはGC/MS/MS法)
残留農薬266項目一斉分析 (茶限定)	8～11	49,000円 (通常55,000円)	GC/MS法 (またはGC/MS/MS法)
残留農薬329項目一斉分析	8～11	49,500円 (通常55,000円)	GC/MS法 (またはGC/MS/MS法)
残留農薬443項目一斉分析	8～11	67,500円 (通常75,000円)	GC/MS法・LC/MS/MS法
残留農薬個別分析	6～	13,500円～ (通常15,000円～)	薬剤の種類によって所要日数や価格が異なりますので、詳細はお問合ください

放射能測定

検査項目	所要日数 (営業日)	キャンペーン特別価格 検査料金 (税別)	検出限界
ゲルマニウム半導体検出器による 放射能精密測定 測定対象：I-131, Cs-134, Cs137	1～2	5,400円 (通常6,000円)	10Bq/kg
	1～3	8,100円 (通常9,000円)	1.0Bq/kg
	2～4	10,800円 (通常12,000円)	0.5Bq/kg

JGAP茶セミナー2014_日本茶の世界展開の可能性とそれを支える品質管理_20140219 日本認証サービス株式会社

23

ご清聴ありがとうございました



Move Forward with Confidence

JCS 日本認証サービス株式会社
Japan Certification Services, Inc.
ISO/IEC17025 認定試験所
ビューロー・ベリタスグループ

〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東4丁目5番17号
TEL: 045-949-4620 FAX: 045-949-4621
Email: cpsinfo.yok@jp.bureauveritas.com
URL: <http://www.pure-foods.co.jp/>